

地域連携推進会議 報告書

開催日時:令和8年2月17日(火)10時から11時半 ※11時半からランチ交流会

開催場所:(会議場所)いずみ福祉園会議室及び(見学)生活棟1階・活動棟2階部分

参加者:地域の代表者3名 保護者代表者3名 利用者代表2名 行政関係機関1名 福祉園
施設関係者4名 計13名

議事次第

10:00~	開会挨拶 目的 お願い 出席者紹介
10:15~	施設見学
10:40~	DVD鑑賞 施設概要 利用者の支援の状況 利用者の安全と安心のための取り組みについて 人権を守るための取り組みについて 地域とのつながり
11:10~	意見交換
11:30~	給食

【施設見学の感想】

TO(地域の方)…54年前にこの地に住居を構えた。当時は何もない場所だったが、今ではこんな風に施設が出来て、地域の営みがあるのが感慨深い。以前は林で泉が湧いていたような場所だった。今回、初めて施設の中に入り、見学をして、利用者へのきめ細かな対応や活動がいろいろあることに驚き、感心した。利用者の皆さんも、ご家族も施設の存在に救われているのではないかな。

TN(地域の方)…私も今回、初めて施設の中に入って見学することができた。実は何十年も前に妻が福祉園で働いていたという縁もある。以前はこの場所に大雄会病院の学校があった時代から知っている。百聞は一見にしかずで、今回、施設の中に入って色々と知ることが出来てよかった。いずみに通う利用者が毎朝、にこやかに挨拶してくれるのを嬉しく感じている。

TR(地域の方)…近所の方に声をかけてもらい、急遽参加することになった。自分の子どもも障害があるから人ごととは思えない。活動内容や障害特性の様子を聞いて職員の方の支援に頭が下がる思いでいっぱいだ。

M(保護者代表)…娘が昨年8月から福祉園に入所している。それまでは、自宅で引きこもり、無断外出等を繰り返し警察に保護され、精神科病棟への入院をせざるを得なくなった。入院が長期化し本人も辛そうだったので退院を機に福祉園に入所し、今では毎週自宅に帰ってくることができて、本人もとても穏やかに過ごせるようになってきている。散歩ぐらいしかしないとっていた娘が、作業をしている姿も見ることが出来てよかった。

S(委託相談員)…今回、はじめて連携会議に出席させてもらった。地域の方が、施設の中に入られて、知らなかったことが分かった、いろいろと理解できたと感じてみえたのが、見ていていいなど感じたし、それこそが地域連携推進会議の意義であると思う。

【意見・要望】

Y(利用者代表)…母が少し前に亡くなって悲しいが、作業をがんばっている。

T(利用者代表)…風景画を描いている時が楽しい。先日はセントレアに行って飛行機も描いた。

近所の方より

- ① いずみ障害者施設の周辺の道路事情、交通マナーについて気になっている。周辺を利用者が行き来するのに、車の出入りが多く、スピードが出ている車も目立つ。減速や注意喚起するような標識があってもよいのでは？
- ② 施設周辺には見通しが悪く、事故の危険が高いT字路もある為、ミラー等の設置が出来ないのか、町内会から行政に働きかけたいと思っているので、いずみさんにも一緒に協力して欲しい。

【所感及び今後の課題】

長年この地域で暮らす近所の方に、実際に活動や支援の様子を見ていただくことで、障害者への認識や施設の役割、支援員の仕事の苦労ややりがいを少しだが理解して頂けたことがわかり有意義な時間となった。町内会長や民生委員といった地域の代表者への依頼も考えたが、結果的には周辺の道路事情や毎日、顔を合わせる利用者の話題や施設立地場所の昔話で盛り上がるなど近所にお住いの方だからこそ話せる、具体的な意見交流ができたのもよかった。一方で、いずみの複数の施設がそれぞれ独立した別の事業所だという認識が無く、わかりにくいという感想もあったので、次回は、隣接する通所事業所の見学ツアー等も企画してみたいと、さらに発展した形での開催を考えるアイデアもいただいた。地域の方、保護者の方のお話をたくさん聞くことが出来たのは、ありがたかったが、同時に障害特性のより具体的な説明や障害者差別解消法(特別扱いではない合理的な配慮)にまで踏み込んだ話に時間が取れなかったことは、次回の課題としたい。

